

2021 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2022 年度分)

団体名	神戸学院大学薬学部および薬学部ライフサポートチーム
<p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none">・主には、薬学部新生（250名）を対象に一次救命処置をしっかりと学んでもらうことを目的とした。・神戸マラソンボランティア希望者の2名には、一次救命処置と簡単な三角巾/包帯の使い方を実技指導した。 <p>【実施内容と振り返り】</p> <ul style="list-style-type: none">・今年是对面での講習ができたが、前年度の遠隔地操作（Zoom）の講習では若手指導者を育成することができず、高齢の指導者1名で各約80名×3日間の講習を行うことになった。指導者の養成は大きな問題である。・場所は体育館だったので、全体は把握できたが、細かい指導は不十分であった。これも指導者数が極端に少なかったことが反省点である。・内容は新たに「オートショック AED」の存在とそのマークを追加した。<ol style="list-style-type: none">(1) 事前に神戸市の「応急手当 WEB 講習」の受講を課した。(2) 一次救命の重要性の講義と、CPR/ AED 手順の実技を行った。(3) アナフィラキシーショックの実例紹介と、トレーニング用エピペンを使用して補助の手順を実技で行った。(4) オートショック AED のマークとその存在を紹介した。(5) 救急安心センター#7119を紹介した。(6) 回復体位の紹介と実技をおこなった。反省点として、伝えたい内容が沢山あり、時間制限がある中では、優先順位をつけて行うべきである。・神戸マラソンボランティア2名への講習は、一次救命処置法と共に簡単なケガの手当て（特に下肢）を行った。受講者2名に対し、指導者2名で十分な指導ができた。	